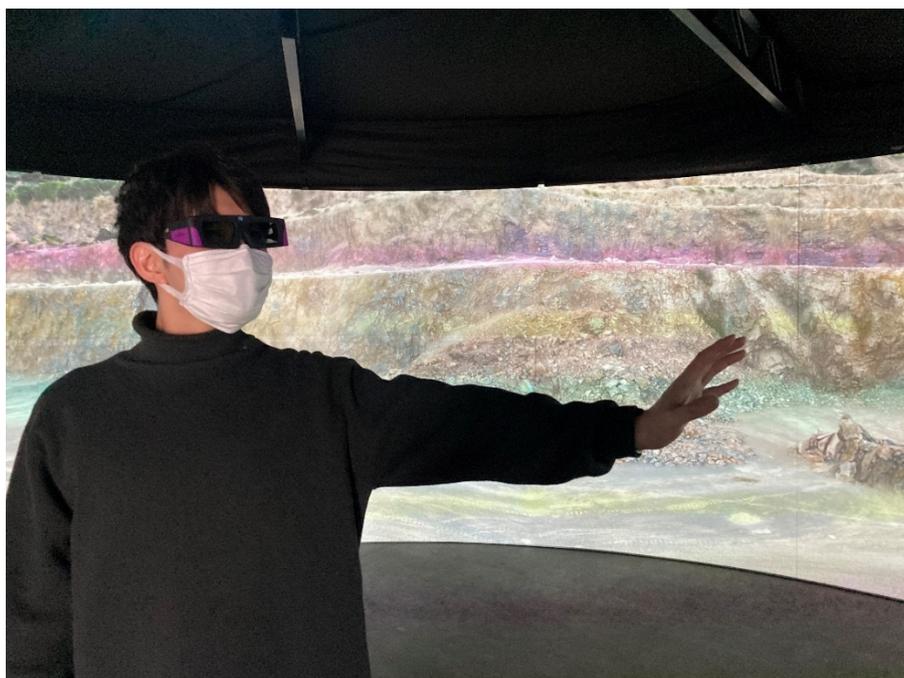


日本初のフィールド科学体験 VR シアターの運用開始

【概要】

この度、北海道大学大学院工学研究院は、工学部に我が国初となるフィールド科学体験のための360° VR シアターを設置いたしました。当該シアターは直径 8m、高さ 2.4mの円筒型のシアターであり、多人数が同時に3D立体視によるフィールドの没入体験が可能な設備となります。メインの映像コンテンツとして、オーストラリアの資源教育で使用されている「Mineral Awareness」(UNSW 提供)が投影可能であり、現実には入ることが出来ない鉱山フィールドをVRで体験することが可能になります。その他のフィールド科学体験コンテンツも鋭意作成中であり、今後のフィールド科学(工学、理学、水産学、農学、etc.)教育に活用していきます。また、フィールド科学の分野に捉われず医学、スポーツ科学、教育学への適用も視野に入れていきます。さらに、大学の知の社会還元の一環としての一般公開も企画しております。



VR シアターの様子。

【プロジェクト開始に至った経緯】

フィールド科学の現場は地中（鉱山）、水中、宇宙、森林等であり、容易に体験することができません。当該分野に強みを持つ北海道大学では、教育の一環としてこれらの現場を体験できる方法論を模索してきました。その第一弾としてヘッドマウントディスプレイ（HMD）による仮想体験を試験実施してきましたが、個人使用の制限から十分な教育効果が得られないという問題がありました。つまり、現場の状況を側で説明するガイドの役割が非常に重要であるということが言えます。

そこで今回リリースした 360° VR シアターの設計・建築に至りました。当該シアターは個の制限から解放されグループ（最大で 10 名程度）での体験の共有が可能となりました。フィールド科学を 360° 立体視で、しかもグループで仮想体験できる設備は、我が国では初の試みとなります。

【開始時期】

令和 4 年 6 月 1 日より本格運用開始。令和 4 年 6 月 11 日（土）には資源素材学会北海道支部若手見学会において、一般公開を行います。その後も講義での活用のみならず、広く社会に公開していきます。

お問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院 教授 川村洋平（かわむら ようへい）

T E L 011-706-8181 メール kawamura@eng.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp